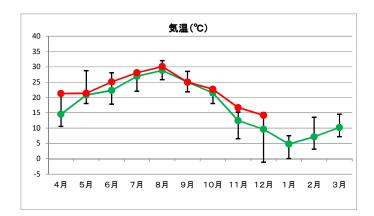
川上ダム建設所 水質調査結果 (令和4年12月分)

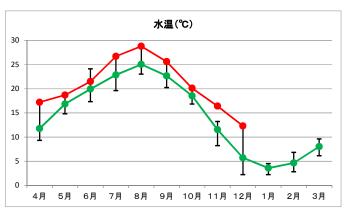
調査時間	0.5m) 11:26 快晴 12.6 14.4 — 56.8 0.5 無色透明 無臭 15.3 7.3 0.9 3.3 <1
気温 °C 14.2 12.9 12.6 12.4 12.8 12.8 水温 °C 12.3 8.0 7.5 10.9 9.0 9.3 透視度 cm >100 >100 >100 >100 >100 >100 >100 全水深 m 0.6 0.4 0.1 0.6 0.7 1.0 採取水深 m 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 外観 - 無色透明 無見 無見 無見 無見 無見	12.6 14.4 ——————————————————————————————————
水温 ℃ 12.3 8.0 7.5 10.9 9.0 9.3 透視度 Cm >100 >100 >100 >100 >100 >100 >100 全水深 m 0.6 0.4 0.1 0.6 0.7 1.0 採取水深 m 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 外観 — 無色透明 無見 無見 無見 無見	14.4 - 56.8 0.5 無色透明 無臭 15.3 7.3 0.9 3.3 <1
透視度 cm >100	- 56.8 0.5 無色透明 無臭 15.3 7.3 0.9 3.3
透視度 cm >100	56.8 0.5 無色透明 無臭 15.3 7.3 0.9 3.3 <1
全水深 m 0.6 0.4 0.1 0.6 0.7 1.0 採取水深 m 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 外観 - 無色透明 無色透明 無色透明 無色透明 無色透明 無色透明 臭気 (冷時) - 無臭 無臭 無臭 無臭 無臭 無臭 無臭 電気伝導度 mS/m 15.9 18.3 16.4 16.5 17.9 18.0 pH - 7.7 7.7 7.6 7.6 7.6 7.7 BOD mg/L 1.1 1.0 0.7 0.9 0.8 0.9 COD mg/L 3.4 1.2 1.8 3.6 1.8 2.3 SS mg/L 1 1 1 1 1 1 1 DO mg/L 10 11 12 10 11 11 1 1 1 1 1 1 1 1	56.8 0.5 無色透明 無臭 15.3 7.3 0.9 3.3 <1
採取水深	0.5 無色透明 無臭 15.3 7.3 0.9 3.3 <1
外観 一 無色透明 無息 無臭 18.0 pH 一 7.7 7.7 7.6 7.6 7.6 7.7 7.7 18.0 2.0 2.0 9.0 9.8 0.9 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1	無色透明 無臭 15.3 7.3 0.9 3.3 <1
臭気 (冷時) 一 無臭 18.0 pH 一 7.7 7.6 7.6 7.6 7.6 7.7 BOD mg/L 1.1 1.0 0.7 0.9 0.8 0.9 SS mg/L 3.4 1.2 1.8 3.6 1.8 2.3 SS mg/L 10 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	無臭 15.3 7.3 0.9 3.3 <1
電気伝導度	15. 3 7. 3 0. 9 3. 3 <1
pH - 7.7 7.6 7.6 7.6 7.7 BOD mg/L 1.1 1.0 0.7 0.9 0.8 0.9 COD mg/L 3.4 1.2 1.8 3.6 1.8 2.3 SS mg/L 1	7. 3 0. 9 3. 3 <1
BOD	0. 9 3. 3 <1
COD mg/L 3.4 1.2 1.8 3.6 1.8 2.3 SS mg/L 1 <td>3. 3 <1</td>	3. 3 <1
SS mg/L 1 </td <td><1</td>	<1
DO mg/L 10 11 12 10 11 11 大腸菌数 CFU/100mL 12 48 29 35 45 22 濁度 度 0.6 0.6 <0.5 0.8 0.7 1.1 全亜鉛 mg/L 0.009 <0.005 0.01 - - - - ノニルフェノール mg/L <0.0006 <0.0006 <0.0006 <0.0006 - - - - LAS mg/L <0.0006 0.0008 <0.0006 - - - - - 全窒素 mg/L 0.57 0.70 0.46 0.49 0.96 0.82 アンモニア態窒素 mg/L <0.005 <0.05 <0.05 <0.005 - - - - 亜硝酸態窒素 mg/L 0.002 0.002 <0.002 - - - - -	
大腸菌数 CFU/100mL 12 48 29 35 45 22 濁度 度 0.6 0.6 <0.5	/
濁度 度 0.6 0.6 <0.5 0.8 0.7 1.1 全亜鉛 mg/L 0.009 <0.005 0.01 — — — ノニルフェノール mg/L <0.00006 <0.00006 <0.00006 — — — — LAS mg/L <0.0006 0.0008 <0.0006 — — — — 全窒素 mg/L 0.57 0.70 0.46 0.49 0.96 0.82 アンモニア態窒素 mg/L <0.05 <0.05 <0.05 — — — 亜硝酸態窒素 mg/L 0.002 0.002 <0.002 — — —	
全亜鉛 mg/L 0.009 <0.005 0.01 — — — ノニルフェノール mg/L <0.00006	3.0
ノニルフェノール mg/L <0.00006	0.8
LAS mg/L < 0.0006 0.0008 < 0.0006 - - - - 全窒素 mg/L 0.57 0.70 0.46 0.49 0.96 0.82 アンモニア態窒素 mg/L < 0.05	0.006
全窒素 mg/L 0.57 0.70 0.46 0.49 0.96 0.82 アンモニア態窒素 mg/L <0.05 <0.05 <0.05 - - - - 亜硝酸態窒素 mg/L 0.002 0.002 <0.002	<0.00006
アンモニア態窒素 mg/L < 0.05 < 0.05 < 0.05 - - - - 亜硝酸態窒素 mg/L 0.002 0.002 < 0.002	<0.0006
亜硝酸態窒素 mg/L 0.002 0.002 <0.002 - - -	0. 55
5	<0.05
硝酸態窒素 mg/L 0.36 0.61 0.30 ー ー ー ー	0. 003
	0. 41
全リン mg/L 0.009 0.012 0.004 0.007 0.044 0.024	0. 012
オルトリン酸態リン mg/L 0.004 0.011 0.003	0. 005
溶解性総リン mg/L 0.006 0.010 <0.003	0. 005
溶解性オルトリン酸態リン mg/L 0.003 0.010 <0.003	0. 003
溶解性COD mg/L 3.3 0.8 1.6	2. 8
クロロフィルa μg/L 1.8 0.6 0.6	1.4
カドミウム mg/L ー ー ー ー ー ー	_
全シアン mg/L	_
鉛 mg/L	_
六価クロム mg/L ー ー ー ー ー ー ー	_
	_
セレン mg/L	_
総水銀 mg/L	_
ポリ塩化ビフェニル mg/L ー ー ー ー ー ー ー	_
ジクロロメタン mg/L – – – – – – – – –	_
ロ塩化炭素	_
1, 2-ジクロロエタン mg/L	_
1,1-ジクロロエチレン mg/L – – – – – – – – – – –	_
シス-1, 2-ジクロロエチレン mg/L – – – – – – – – – – –	_
1, 1, 1 - トリクロロエタン mg/L	_
1,1,2-トリクロロエタン mg/L	_
テトラクロロエチレン mg/L – – – – – – – – – – – – – – – – – – –	
7 7 7 4 115/ 2	
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
チオベンカルブ mg/L - <t< td=""><td>_</td></t<>	_
ベンゼン mg/L	_
フッ素 mg/L ー ー ー ー ー ー ー	_
ホウ素 mg/L ー ー ー ー ー ー ー	_
1, 4-ジオキサン mg/L	_
TOC mg/L 1.9 0.6 0.8 — — —	1. 9
2-MIB mg/L	<0. 005
ジェオスミン mg/L	<0.005
フェオフィチン μ g/L ー ー ー ー ー ー ー	
植物プランクトン 細胞数/L	0. 8

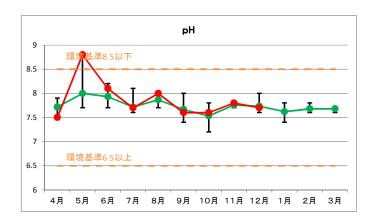
1. 新川上

- I 過去5年変動幅(最大値-最小値)
- 過去5年平均値
- 令和4年度値

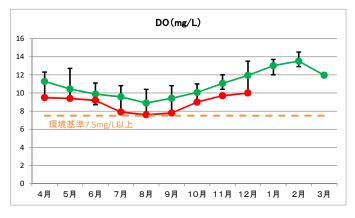
(注)過去5年:平成29年4月~令和4年3月



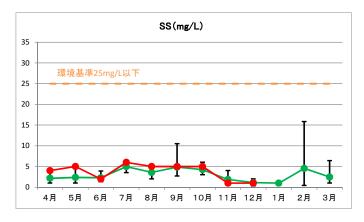




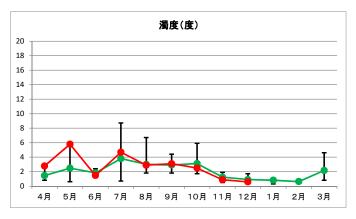
※pH(水素イオン濃度指数):酸性、アルカリ性の度合いを示す物理量で、pH=7を中性と呼ぶ。



※DO(溶存酸素量):水中に溶存する酸素の量。酸素が少なくなると魚類をはじめとする水生動物は生息が困難となる。



※SS(浮遊物質):水中に浮遊する粒径2mm以下の不溶解性物質の総称。



※濁度:水の濁りの程度を表すもの。

※生活環境の保全に関する環境基準(水質汚濁に係る環境基準) 人の健康を保護し、また生活環境を保全するうえで維持されることが望ましい環境上の条件についての基準。そのうちの生活環境項目については、水域の利用目的に応じた類型ごとに基準値が定められている。新川上のある前深瀬川は環境基準の類型が指定されていないため、木津川本川(A類型)を参考とする。

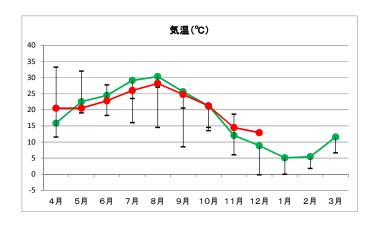
河川A類型

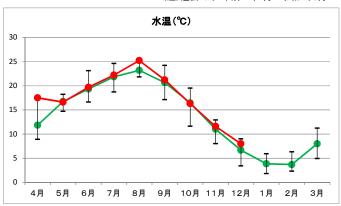
pH:6.5 ~ 8.5mg/L、DO:7.5mg/L以上、SS:25mg/L以下

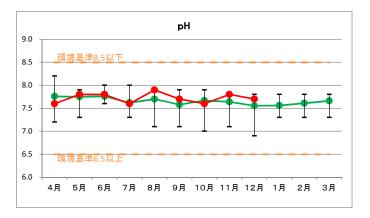
2. 種生橋

I 過去10年変動幅(最大値一最小値) ● 過去10年平均値 ● 令和4年度値

(注)過去10年:平成24年4月~令和4年3月





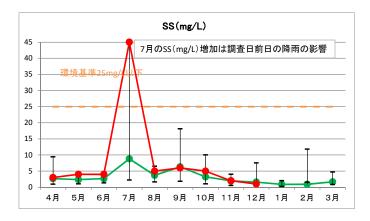


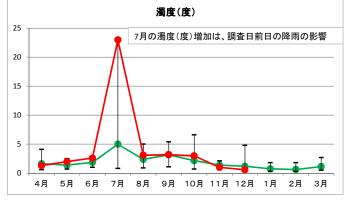
DO(mg/L)

16
14
12
10
8
6
環境基準7.5mg/L以上
4
2
0
4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

%pH(水素イオン濃度指数):酸性、アルカリ性の度合いを示す物理量で、pH=7を中性と呼ぶ。

※DO(溶存酸素量):水中に溶存する酸素の量。酸素が少なくなると魚類をはじめとする水生動物は生息が困難となる。

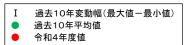




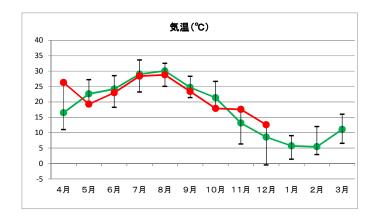
※SS(浮遊物質):水中に浮遊する粒径2mm以下の不溶解性物質の総称。

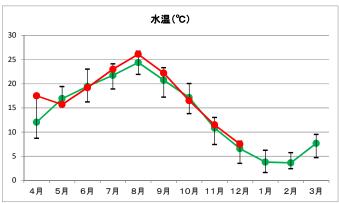
※濁度:水の濁りの程度を表すもの。

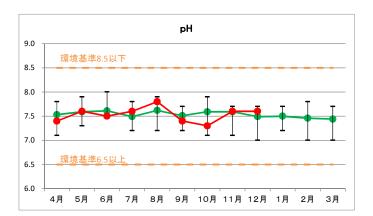
3. 安場橋

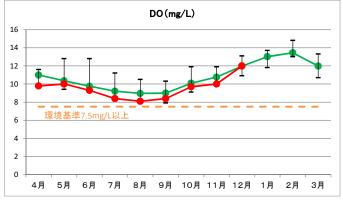


(注)過去10年:平成24年4月~令和4年3月



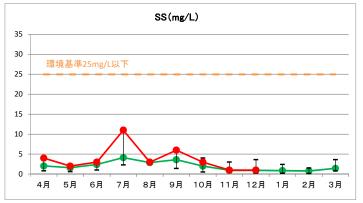


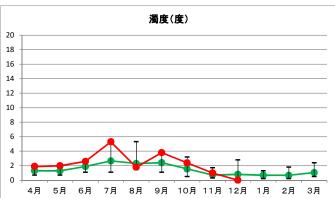




※pH(水素イオン濃度指数):酸性、アルカリ性の度合いを示す物理量で、pH=7を中性と呼ぶ。

%DO(溶存酸素量): 水中に溶存する酸素の量。酸素が少なくなると魚類をはじめとする水生動物は生息が困難となる。

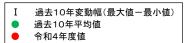




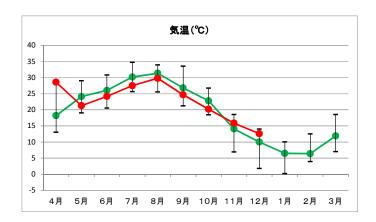
※SS(浮遊物質):水中に浮遊する粒径2mm以下の不溶解性物質の総称。

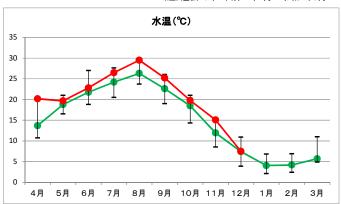
※濁度:水の濁りの程度を表すもの。

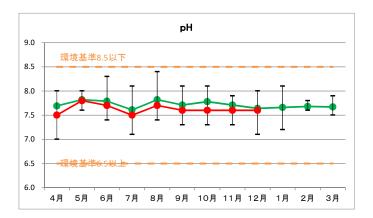
4. 羽根橋

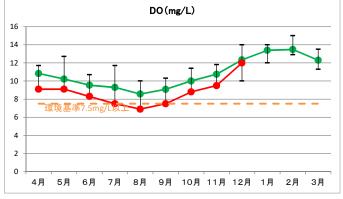


(注)過去10年:平成24年4月~令和4年3月



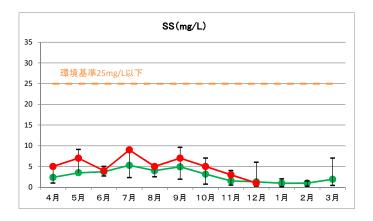


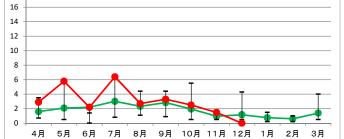




%pH(水素イオン濃度指数):酸性、アルカリ性の度合いを示す物理量で、pH=7を中性と呼ぶ。

%DO(溶存酸素量): 水中に溶存する酸素の量。酸素が少なくなると魚類をはじめとする水生動物は生息が困難となる。





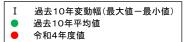
濁度(度)

※SS(浮遊物質):水中に浮遊する粒径2mm以下の不溶解性物質の総称。

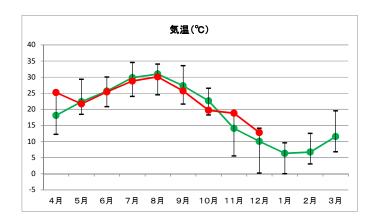
※濁度:水の濁りの程度を表すもの。

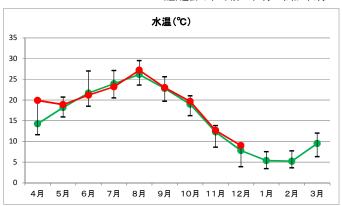
20 18

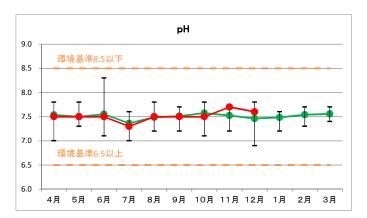
5. 後瀬橋

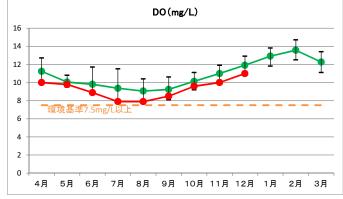


(注)過去10年:平成24年4月~令和4年3月



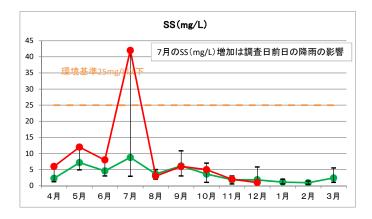






※pH(水素イオン濃度指数):酸性、アルカリ性の度合いを示す物理量で、pH=7を中性と呼ば

※DO(溶存酸素量):水中に溶存する酸素の量。酸素が少なくなると魚類をはじめとする水生動物は生息が困難となる。



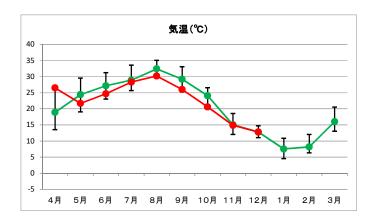


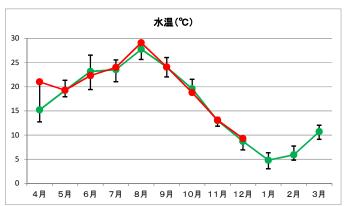
※SS(浮遊物質):水中に浮遊する粒径2mm以下の不溶解性物質の総称。

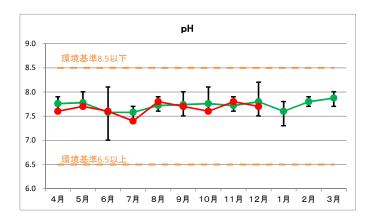
※濁度:水の濁りの程度を表すもの。

6. 比土橋

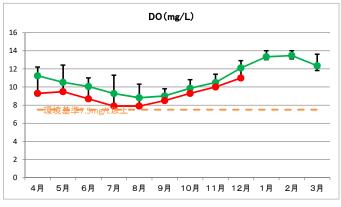
- I 過去4年変動幅(最大値-最小値)
- 過去4年平均値
 - 令和4年度值
 - (注)過去4年:平成30年4月~令和4年3月



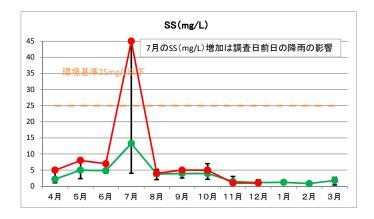




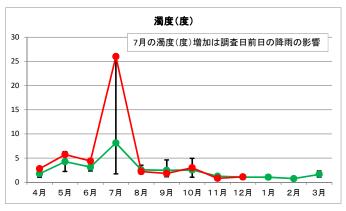
※pH(水素イオン濃度指数):酸性、アルカリ性の度合いを示す物理量で、pH=7を中性と呼ぶ。



※DO(溶存酸素量):水中に溶存する酸素の量。酸素が少なくなると魚類をはじめとする水生動物は生息が困難となる。



※SS(浮遊物質):水中に浮遊する粒径2mm以下の不溶解性物質の総称。



※濁度:水の濁りの程度を表すもの。

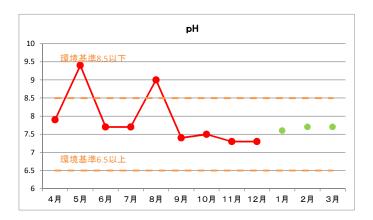
7. 貯水池内基準点(表層0.5m)

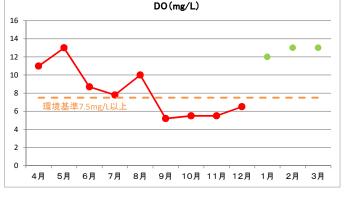
令和4年度值 過年度(令和3年度)値

令和4年度値



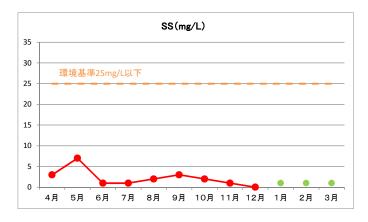






※pH(水素イオン濃度指数):酸性、アルカリ性の度合いを示す物理量で、pH=7を中 性と呼ぶ。

※DO(溶存酸素量):水中に溶存する酸素の量。酸素が少なくなると魚類をはじめとする水生動物は生息が困難となる。





※SS(浮遊物質):水中に浮遊する粒径2mm以下の不溶解性物質の総称。

※濁度:水の濁りの程度を表すもの。

※生活環境の保全に関する環境基準(水質汚濁に係る環境基準) 人の健康を保護し、また生活環境を保全するうえで維持されることが望ましい環境上の条件についての基準。そのうちの生活環境項目については、水域の利用目的に 応じた類型ごとに基準値が定められている。貯水池内基準点のある前深瀬川は環境基準の類型が指定されていないため、木津川本川(A類型)を参考とする。

河川A類型

pH: 6.5 ~ 8.5mg/L、DO: 7.5mg/L 以上、SS: 25mg/L 以下